

開講学科	建築学専攻	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		—				
科目名	地域環境計画特論	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		1,2年次	選択	33000701		
担当教員	宮崎 均	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	後期	木曜日	6時限	
授業の教育目的・目標	① 地方都市における地域環境計画を通し研究（調査、分析、評価）の手法を修得する。 ② 先駆的に行われている内外の事例を収集し、多面的視点から評価する能力を学ぶ。 ③ 多くの都市再生プロジェクトが包摂し得る構想計画づくりの体系を明らかにし、その手法を修得する。					
学科の学修・教育目標との関係	a. 自ら調べ、自ら考え問題解決する能力をもっている。 b. 先端技術に関心をもち、柔軟に対応できる応用力を持っている。 c. 記述能力、描写能力、ものを作る能力を通して、自分の考えを表現することが出来る。 g. 建築家が備えるべき安全性や快適性に関する基本的な知識を持っている。 i. 建築の地域社会との関わりや、建築と環境の関係について考えることが出来る。 j. 建築家が備えるべき社会的責任を理解している。					
キーワード	研究の方法、都市デザイン、事例調査、再生					
授業の概要	個々の地方都市での問題に関する認識は深まっているものの、それを他都市と比較し相対化して試みることや、地方都市の普遍性・一般性と個別の都市の特殊性・固有性を分解することが困難であった。そこで、事例という特殊解から、一步踏み込んだ帰納的一般解である「地方都市型の都市計画」を構築しようとするものであり、それを最終目的として見定めながら、中心市街地問題を多面的な視点で議論する。					
授業の計画	第1回： ガイダンス 都市における地域環境形成の状況と再生の課題 第2回： 研究手法の考察（1） 文献のレビュー 第3回： 研究手法の考察（2） 文献のレビュー 第4回： 既往研究を分析・評価する（1） 建築学会を対象に 第5回： 既往研究を分析・評価する（2） 都市計画学会を対象に 第6回： 既往研究を分析・評価する（3） 環境情報学会を対象に 第7回： 地方都市における市街地の拡大とは何か 第8回： 中心市街地の変容要因の形成・再形成と新たな対応・取り組み 第9回： コンパクトな都市づくりと中心市街地の活性化による都市再生 第10回： 持続可能性に関する諸計画の連続性を検証する 第11回： 保全と開発の調和を目指した条例によるまちづくり 第12回： 広域中心20万人都市の市街地整備に関する計画と農村部への対応 第13回： 非線引き都市のコンパクトな都市づくりを考える 第14回： 都市デザイン展開の体系 第15回： 総括					
受講条件・関連科目	受講条件：都市環境計画Ⅰ、Ⅱを履修していること					
授業方法	ゼミ方法、ディスカッション、プレゼンテーション					
テキスト・参考書						
成績評価	・期末試験（0%） ・レポート（0%）・その他（演習課題）（100%） ・小テスト（0%）					
履修上の注意	修士論文を組み立てる上で必要なプロセス					